

# 教育環境の充実に向けて

## ～来春、専門学校・附属診療所・大学が リニューアルします



森ノ宮医療学園 理事長 森 俊豪

朝晩はめっきり涼しくなり、さわやかな季節となりました。校友会の皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。

森ノ宮医療大学が位置する咲洲コスモスクエア地区は、府庁の移転先候補や大阪市の開発重点地区として話題に上ることが多くなっています。大学にとって地域の発展は、周辺の利便施設が増えたり、地域企業との様々な提携の機会が増えたりと歓迎するところがあります。昨年、キャンパスの南側に購入した2,500坪の校地の整備も終わり、現在はテニスやフットサルができるようになっています。芝生広場とともに、クラブ活動や学園祭、地域の運動会にと大いに使っていただけることと期待しています。このように教育環境を充実させることができますのも、校友会の皆さまはじめ関係諸氏のご支援の賜と感謝申し上げます。

さて、今年度も施設・設備の拡充に向け、専門学校、大学ともに様々な取り組みを計画しています。先ず、専門学校では昭和57年来、全国に先駆け臨床実習施設として活用してきた附属診療所と附属施術所を緑橋校舎に移転します。地下鉄緑橋駅から約50mと患者さんには通院しやすく、臨床実習にご協力いただける患者さんを確保しやすくなると思っています。医師は、内科の田中邦雄院長に加え、整形外科医を常勤医師として迎え、最新のMRI装置等を設置します。2階は理学療法室、3階が鍼灸と柔道整復の施術所となります。臨床実習施設として充実させるとともに、今まで以上に地域医療に貢献できるよう診療時間等の検討も行っていく予定です。

次に、本校舎と道路を隔てたアネックス校地に柔道場と多目的教室を備えた新校舎を建築します。柔道整復学科の皆さまには、柔道場への移動時間が短縮さ

れ、授業により集中できるようになります。また多目的教室は各種研修会やクラブ活動に、また300人以上収容可能な大講堂としても利用可能です。

本校舎では、快適な学習空間を確保すべく診療所があった1階と3階を改装し、普通教室や実技実習室を増設し、学生ホールを拡張する予定です。竣工から約十年間、定員増や学科コースの変更と、状況がめまぐるしく変化する中、特に実技室の使用頻度が増し、近年在校生には不便をおかけしていましたが、これによりすべての普通教室と実技実習室が本校舎に集約され、ゆとりのある実技教育が可能となります。増築、改装中は皆さんにはご迷惑をおかけしますが、新年度には新しくなった校舎でスタートできると思いますので、ご協力をお願いいたします。

大学のあるコスモキャンパスでは、かねてより食堂の整備が望まれておりましたが、構内美化、さらに将来の新学科の設置も視野に入れて、食堂棟を建築することがベストとの結論に達し、現在の駐車場の一部を利用し、新たに2階建て約400席のレストランを建築することになりました。医療大学にふさわしく食材や栄養に配慮したメニューを提供し、在校生のみならず周辺住民の方々にも利用していただけるような快適なレストランを目指してゆきたいと思っております。

森ノ宮医療学園は、今後も「伝統医学と現代医学の融和と補完を通じて、幅広い知識と高度な専門技術を有し、豊かな感性と高い倫理観を備えた専門職医療人を育成する」ため、教職員一丸となって教育、研究、臨床に邁進していく所存です。校友会の皆さまには、今まで以上にご支援賜りますようお願い申し上げます。